

平成29年度 第3回

認知症支援・介護予防・活躍推進に関する会議

2 議事(2) オレンジプランについて

<基本理念>

市民一人ひとりが、認知症を正しく理解し、誰もが安心して暮らせる  
『みんなで支えあうまち』

<基本方針>

1. 市民一人ひとりが認知症のことを正しく理解する（普及啓発）
2. 認知症の人やその家族を支える体制を構築する（支援体制）
3. 認知症の人やその家族の視点や意向を尊重する（意向尊重）

<基本的な施策>

1 認知症への理解を深め「やさしい地域づくり」の推進

- 認知症の正しい知識の普及促進
- 認知症の人が暮らしやすい地域づくりの推進

2 認知症の人の生活を支える医療・介護体制の構築

- 認知症の早期発見・早期対応
- 地域での生活を支える医療介護体制の構築
- 医療・介護サービスを担う人材育成

3 認知症の人や家族を支える相談・支援体制の強化

- 認知症の人や介護者への支援
- 認知症の人の安全確保
- 地域での日常生活の支援

4 認知症予防の充実・強化

- 市民の予防に関する知識と意識の向上
- 生活習慣病・介護予防と一体化した取組み

5 若年性認知症施策の強化

- 若年認知症の早期発見・早期診断
- 若年性認知症の支援体制の強化

6 地域・民間・行政が一体となった認知症対策の推進

- 認知症の人やその家族の視点の重視
- 協働の取組みの推進

7 権利擁護・虐待防止の充実・強化

- 高齢者の権利擁護の推進
- 高齢者の虐待防止対策の推進

## ■北九州市オレシジプラン進捗状況と新目標(案)

項目	前回プラン策定時 (平成26年度)	進捗状況 (平成28年度末)	現在の目標 (平成29年度)	新目標(案) (平成32年度)
認知症サポーターの養成	4万3,998人	7万3,201人	延べ7万人 (H28年12月達成)	延べ10万人
認知症初期集中支援チームの設置	—	モデル実施 (小倉北区・小倉南区)	全市をカバーできる体制 (H29年度達成見込)	医療・介護体制の構築により 効果的な取組みの推進
認知症疾患医療センターの設置	1か所	3か所	4か所 (H29年度に達成)	医療・介護体制の構築により 効果的な取組みの推進
搜索模擬訓練の実施	1区(小倉南区)	7区	7区全区で開催 (H28年11月達成)	好事例の横展開等により 効果的な取組みの推進
認知症カフェの普及促進	—	6区	7区全区で開催 (H29年度に達成)	全市で50か所
認知症支援・介護予防を総合的に支援する拠点の設置	—	認知症支援・介護予防センター設置	拠点の設置 (H28年4月設置)	効果的な取組みの推進

## ■国の進捗状況と目標(参考)

項目	前回プラン策定時 (平成26年度)	進捗状況 (平成28年度末)	現在の目標 (平成29年度)	新目標 (平成32年度)
認知症サポーター養成	545万人 (H26.9末)	880万人	800万人 (H29年度末)	1,200万人
認知症初期集中支援チーム(市町村)	41カ所 (H26年度末)	703カ所	全市町村 (平成30年度～)	好事例の横展開等により効果的な取組みの推進
認知症疾患医療センター	289カ所 (H26年度末)	375カ所	500カ所 (H29年度末)	※2次医療圏域に少なくとも1センター以上設置
認知症カフェ等の設置	—	—	—	全市町村
認知症サポーター医養成研修	3,257人 (H25年度末)	0.6万人	5千人 (H29年度末)	1万人

## 認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)の数値目標の更新等について

- 認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)については、平成27年1月に関係12府省が共同で策定。
- 高齢者にやさしい地域づくりから本人の視点まで新規の取組を含む幅広い内容を網羅。
- 2025年度までを対象期間とし、当面の数値目標は平成29年度末で設定(介護保険事業計画の期間と同様)

### 現在までの進捗状況

- 数値目標(平成29年度末)は11項目設定。
- 平成28年度末現在の進捗状況は順調であり、概ね目標達成できる見込み。
  - ・平成28年度末時点で前倒して達成している項目 5項目
    - 認知症サポーター養成 880万人(28年度末) 【目標 800万人(平成29年度末)】
    - 認知症サポーター 6千人(28年度末) 【目標 5千人(平成29年度末)】
  - ・平成28年度末時点で9割程度達成している項目 3項目
    - かかりつけ医認知症対応力向上研修 5.3万人(28年度末) 【目標 6万人(平成29年度末)】
    - 認知症介護実践リーダー研修 3.8万人(28年度末) 【目標 4万人(平成29年度末)】
- 新オレンジプランを契機に新たな取組を開始した自治体も多く、認知症の人とその家族を支援する地域資源は着実に増加。

### 第6回認知症高齢者等にやさしい地域づくりに係る関係省庁連絡会議

- 第7期介護保険事業計画の策定に合わせ、平成32年度末までの数値目標に更新。
- 関係省庁連絡会議において、以下の事項を実施。
  - ・認知症の人本人の講演と関係省庁との意見交換。
  - ・プラン記載の施策の着実・効果的な実行を、関係省庁が一丸となって取り組む旨を確認・共有。